データ外部入力ツール

操作手順書（詳細編）

2025/01

データ外部入力ツール

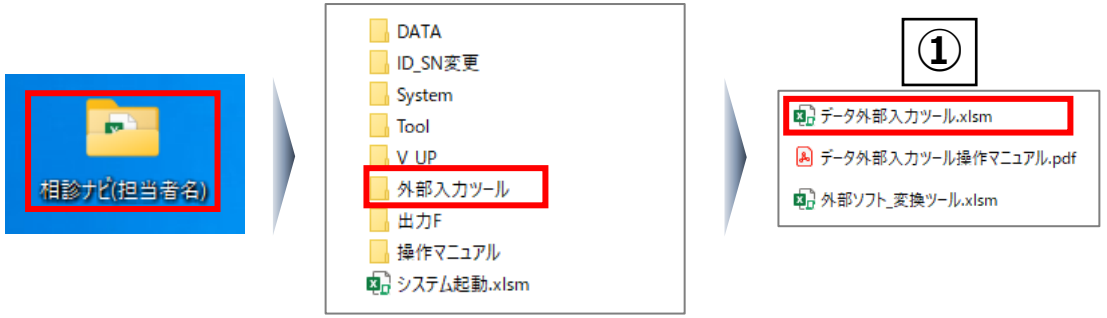
【データ外部入力ツール】

本ツールは下記①、②の場合に使用するツールです。

①外部ソフトのデータを相診ナビに取り込めるように追記・編集を行う場合に使用します。

②当システムの使用契約外のPC上で顧客データを入力できます。相診ナビの使用担当者以外の方に、入力を支援していただく場合に使用します。
また、データ外部入力ツールのインポートボタンから複数のデータ外部入力ツールのデータをまとめることができますので、1人の顧客データを複数人が協力して作成できます。

運用方法と起動方法



データ外部入力ツール　　ホーム画面

● データを入力する前の準備

・当システム使用契約外PCで顧客データを入力する場合は、【データ外部入力ツール】のコピーをメール・USBメモリ・共有サーバー等を使用し、入力するPCに移動してご利用ください。

・1人の顧客データを複数人が同時に入力する場合は、データ外部入力ツールのコピーをそれぞれに用意し入力していきます。

・本ツールの原本はなるべく使用しないようにし、コピーを作成のうえ、データ入力することを推奨します。

・本ツールのコピーの名前は任意に変更できます。

・本ツールを紛失等した場合は、当システムのバージョンアップ作業をすることで、復元することができます。
（入力されていたデータの復元はできません。）

①【データ外部入力ツール】を立ち上げます。

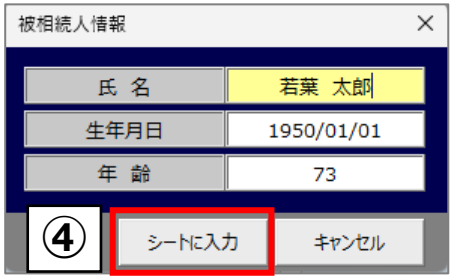
・【編集を有効にする】【コンテンツの有効化】というボタンが出てきた場合は、こちらをクリックします。

② 他のデータが残っている場合は【データクリア】をクリックします。

・データ外部入力ツールは1データしか1次保存できませんので、まだ当システムに取り込んでいないデータの場合は、相診ナビに取り込んだ後で【データクリア】をクリックしてください。

被相続人情報　入力

データ外部入力ツール　　ホーム画面



③【被相続人情報入力】をクリックします。

④ 被相続人情報を入力し【シートに入力】をクリックします。

推定相続人情報　入力

データ外部入力ツール　　ホーム画面

⑤【推定相続人情報】をクリックします。

⑥【フォーム入力・編集】をクリックします。

⑦ 相続人情報を入力します。

※1　『参照』ボタンが設置されている項目は、『参照』ボタンから選択することを推奨しております。

・代襲相続人が2人いるケースで、2人の親が同一の場合は、両者とも続柄を『代襲A』としてください。

・遺産分割で法定相続人以外に財産を相続させる場合は、続柄欄は『受遺者』を入力してください。

・生年月日を入力することで一年経過ごとに年齢が自動で更新されます。

・『持ち家』について、相続人自身またはその配偶者に持ち家が有る場合は、『有』を選択してください。

・『二次相続時除外』にチェックを入れると、二次相続時の相続人としてカウントされません。

・『配偶者養子縁組』にチェックを入れると、二次相続時の相続人としてカウントされます。
（続柄が養子、孫養子の時に限る）

⑧【リストに書き込み】をクリックします。

・推定相続人リストに追加されます。

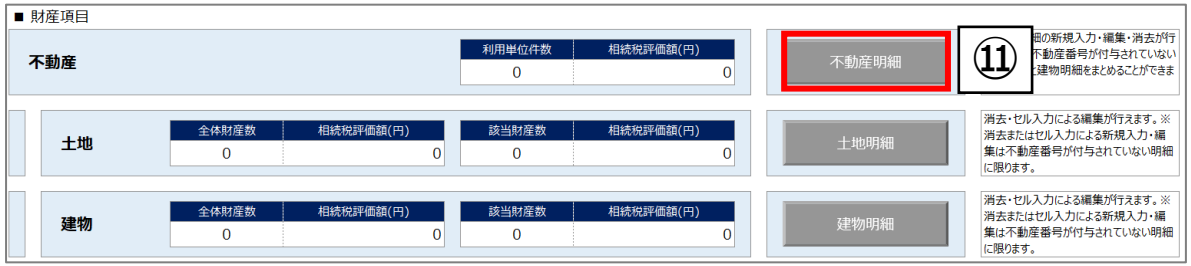
・相続人の数だけ⑦～⑧を繰り返し行います。

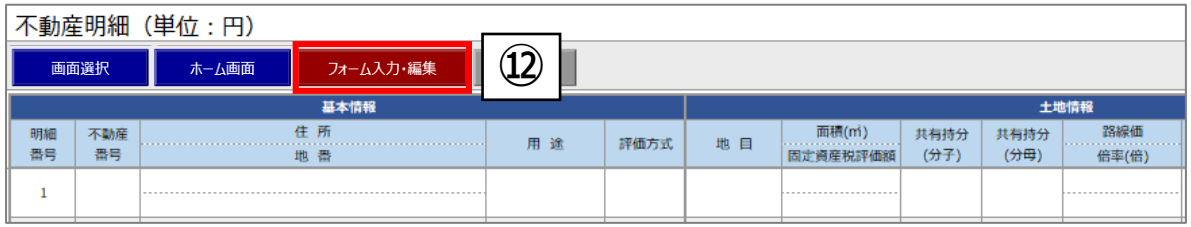
⑨【シートに入力】をクリックします。

⑩【ホーム画面】をクリックします。

不動産明細　入力①

データ外部入力ツール　　ホーム画面





⑪【不動産明細】をクリックします。

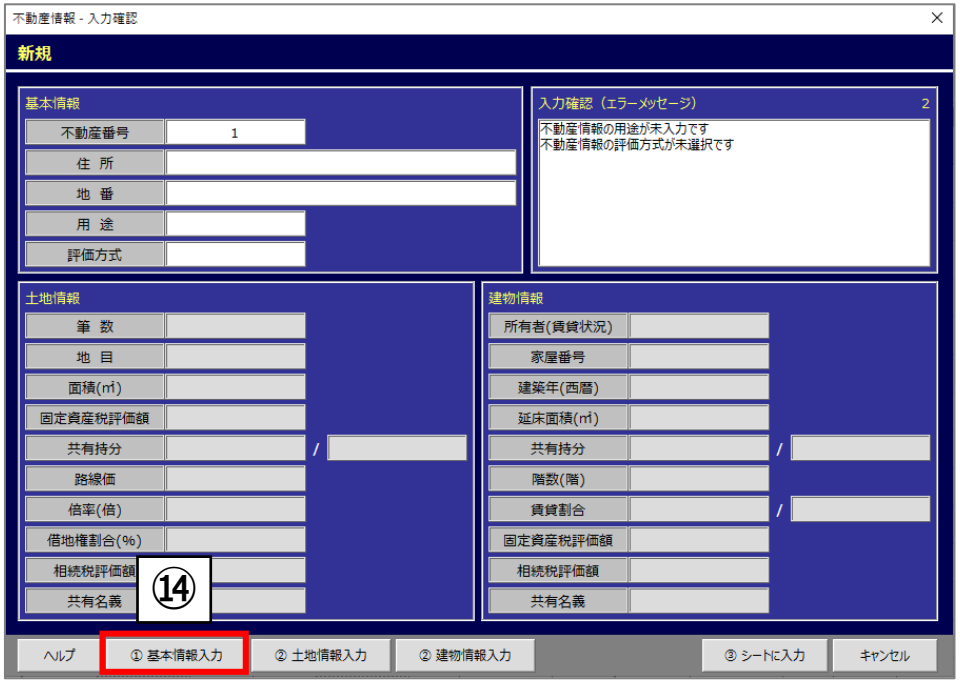
・【土地明細】【建物明細】からも不動産情報を入力できますが、不動産明細ボタンから利用単位にまとめる作業が必須となります。
通常は不動産明細から入力してください。

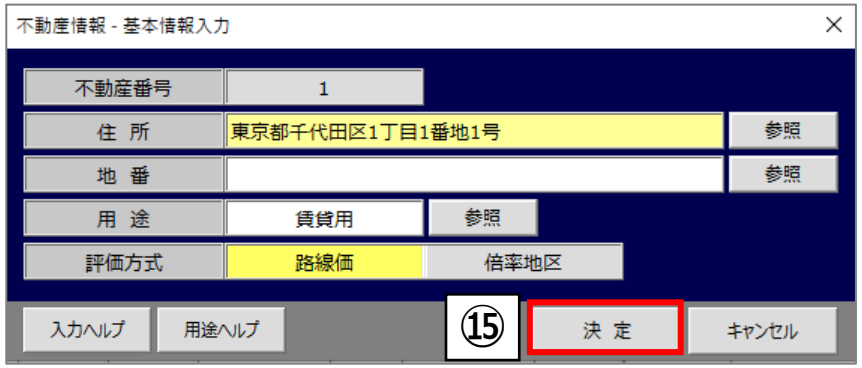
⑫【フォーム入力・編集】をクリックします。

⑬【新規】をクリックします。

・【土地明細】【建物明細】から不動産情報を入力した場合は、【利用単位にまとめる】ボタンから土地と建物の紐づけ作業をします。
詳細は、外部ソフトからの取込手順書を参照してください。

不動産明細　入力②



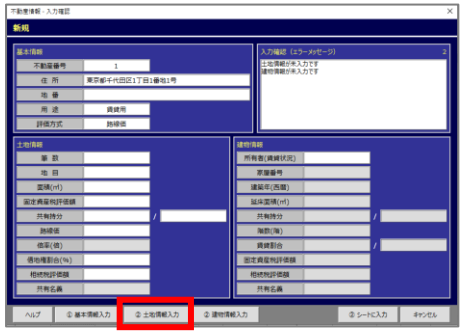


⑭【基本情報入力】をクリックします。

⑮ 基本情報を入力し【決定】をクリックします。

・基本情報入力での地番の入力は任意です。
（この後に土地情報入力で入力する地番情報が、基本情報の地番に自動反映されます。）

不動産明細　入力③



⑯【土地情報入力】をクリックします。

⑰【新規】をクリックします。

⑱ 土地情報を入力し【決定】をクリックします。
（⑰～⑱を筆の数だけ繰り返し行います。）

⑲ 入力完了後【決定】をクリックします。

留意点

・『地目』『土地の用途』『共有持分』『路線価』『借地権割合』『共有名義』が相違する土地の筆情報は入力できません。

・上記が相違する場合は、利用区分を分けて入力（別物件として入力）してください。

・1筆内で土地の用途（評価方法）が異なる場合は、土地の用途ごとに面積を按分して入力してください。

・路線価地区の場合、固定資産税評価額の入力は任意です。

・相続税評価額の欄は、既に算出済みの場合のみ入力します。

<u>相続税評価額を空欄とした場合は、当システムに取り込んだ際に当システムの評価方法により自動で相続税評価額が算出されます。</u>

不動産明細　入力④

⑳【建物情報入力】をクリックします。

㉑ 建物情報を入力し【決定】をクリックします。

・相続税評価額の欄は、既に算出済みの場合のみ入力します。

相続税評価額を空欄とした場合は、当システムに取り込んだ際に当システムの評価方法により自動で相続税評価額が算出されます。

不動産明細　入力④

㉒ 入力確認（エラーメッセージ）が空欄になっていることを確認し【シートに入力】をクリックします。

㉓【画面選択】からホーム画面にもどります。

生命保険明細（資産明細）　入力

データ外部入力ツール　　ホーム画面

● **預貯金明細や生命保険明細等の入力方法は、下記のようになります。**

ここでは生命保険の入力について説明しますが、他の資産の入力も同様です。

㉔【生命保険明細】をクリックします。

㉕【セル入力】をクリックします。

資産明細の相続税評価額は必ず入力してください。

㉖ 生命保険明細を入力し【シートに入力】をクリックします。

※1 被相続人と被保険者が同一の場合は、プルダウンメニューから選択することを推奨します。

・被保険者名が被相続人名と同一の場合、生命保険の非課税金額が自動計算されます。

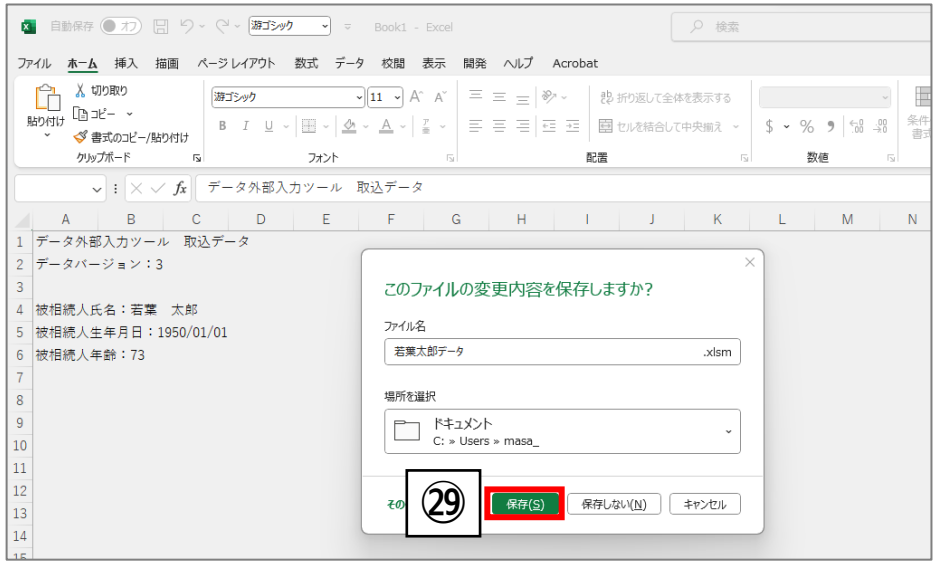
※2 取込欄に「該当」の入力がない場合、その財産は取り込まれません。

㉗【画面選択】からホーム画面に戻ります。

その他留意点
・死亡退職金は、その他明細に入力します。
種類と財産名には『死亡退職金』と入力してください。
『死亡退職金』というワードで非課税額が計算されます。

エクスポート

データ外部入力ツール　　ホーム画面



● 相診ナビに取り込む方法を説明します。

※1　全体財産数と該当財産数が一致しているか確認してください。
該当財産数とは取込可能な財産数です。

㉘【エクスポート】をクリックします。

㉙ 取り込み用のExcelが出力されるので、
×ボタンをクリックし任意の場所に保存します。

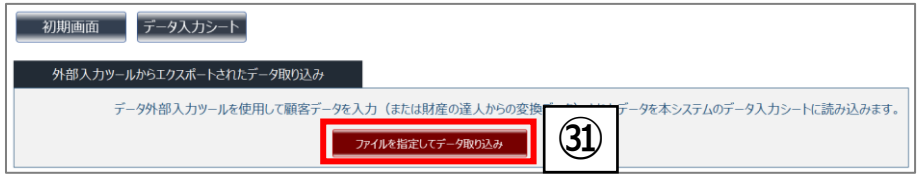
※2　1人の顧客データを複数人が複数の当ツールでデータを入力した場合は、【インポート】ボタン※2から㉙で出力したExcelを取り込むことで、2つ以上のデータを1つにまとめれます。
データをまとめた後、再度㉘と㉙を行い次ページに続きます。

注意点

複数のデータ外部入力ツールのデータをまとめる機能は、相診ナビ本体にはありませんので、必ずデータ外部入力ツールでデータをまとめた後、相診ナビに取り込むようにしてください。

相続診断ナビゲーションへ取り込み

相続診断ナビゲーション　初期画面



データ入力シート

㉚ 相続診断ナビゲーションを立ち上げ【外部のデータ取込み】をクリックします。

㉛【ファイルを指定してデータ取り込み】をクリックします。

変換ツールまたは外部入力ツールから出力したExcelを選択し取り込みます。

㉜ 入力シート上で色がついている箇所の補記を行います。

小規模宅地の算出方法のプルダウンメニューは「適用外」が選択されますので、適宜算出方法を選択してください。

㉝ 顧客Noを入力します。

㉞【登録】をクリックします。

データ外部入力ツールの使用方法は以上です。